

令和6年度のご挨拶

こんにちは。長崎県立希望が丘高等特別支援学校 第十三代校長の伊藤彰浩と申します。今年度、校長2年目を迎えました。昨年度に引き続き、生徒の人権を尊重し、安心・安全で信頼される学校づくりを全教職員で推進していきます。

本校は、自力通学が可能である生徒に対して、職業的自立・社会的自立を目指し、一般就労に必要な能力や態度を身につけさせる県内唯一の高等特別支援学校として平成3年に開校し、本年度、創立34年目を迎えました。進路希望実現100%に向けて、平成30年度からは職業学科3学科（生活サービス科、流通サービス科、環境デザイン科）を設置し、各教科学習に加えて地域貢献活動や各種検定資格取得など、多様化する社会的ニーズに対応した教育課程に積極的に取り組んでいます。

校訓は「忍耐・練達・希望」です。「忍耐」耐える心を学びます。「練達」たくみの技を磨きます。「希望」望みをいだきはばたきます。この三つの校訓を基に、素直で思いやりの心をもつ、自ら学ぶことができる生徒を育てます。

また、8つの部活動（陸上競技部、ウエイトリフティング部、サッカー部、バドミントン部、和太鼓部、家庭部、新聞部、美術部）があります。ほぼ全ての生徒が部活動に所属し、個性と感性を磨き人間性を豊かにし、目標を持って日々活動しています。複数の部が、県代表、九州代表として全国大会に出場するほどの実績も残しています。

私たち教職員も、生徒と共に学び、共に成長し続けます。生徒や保護者、地域から信頼される教師を目指します。生徒一人一人の夢、希望の実現に向けて、今、目の前にあることに心を込めて一生懸命に取り組んでまいりたいと考えています。

今後とも元気で活発な本校生徒への御支援、職業教育の充実に向けた取組みを進めている希望が丘高等特別支援学校の教育活動への御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

令和6年4月

希望が丘高等特別支援学校
校長 伊藤彰浩